



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

平成28年4月1日

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

平成28年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	ともざわ しんいち 友沢 晋一	(内線204)
副所長	(道路改築)	かだ あつみ 加田 厚	(内線205)
副所長	(道路管理)	ひの よしひろ 樋野 義周	(内線206)
担当)	計画課長	よしだ まさと 吉田 真人	(内線261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長		こばやし けんじ 小林 健二	(内線12)
担当)	工務課長	かねゆく ようじ 兼行 陽士	(内線15)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページアドレス

<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/index.html>

山口河川国道事務所 宇部港湾・空港整備事務所

平成28年度の予算概要

《平成28年度の主な事業概要》

○河川事業

- ・佐波川一般河川改修事業(奈美地区)は、平成28年度に睦美橋から小野大橋付近の防府市奈美・鈴屋において築堤工事約L=0.6kmを推進します。
- ・佐波川総合水系環境整備事業(新橋地区)は、平成28年度に防府市本橋町・上右田の本橋付近において法面整正、坂路整備を実施します。

○道路事業

- ・小月バイパスは、平成28年度の4車線開通に向け、橋梁工事、舗装工事等を推進します。
- ・俵山・豊田道路は、平成28年度に新規事業として、道路設計、環境調査等を推進します。
- ・栄橋架替は、平成28年度の完成に向け、橋梁工事等を推進します。
- ・松耀台交差点改良は、平成28年度の完成に向けて工事を推進します。
- ・印内地区交差点改良は、平成28年度新規事業として、調査設計、工事を推進します。
- ・平安古地区交差点改良は、平成28年度新規事業として、調査設計、用地買収を推進します。
- ・柳井電線共同溝事業は、平成29年度の電柱撤去に向け調査設計及び工事を推進します。

○港湾事業

- ・徳山下松港国際物流ターミナル整備事業は、新南陽地区において航路(水深12m)の平成28年度完成に向けて浚渫工事を推進するとともに、徳山地区において航路(水深14m)浚渫工事を推進します。
- ・また徳山下松港においては、平成28年度より新規事業として、下松地区棧橋(水深19m)、徳山地区岸壁(水深14m)等の調査・設計に着手します。
- ・宇部港航路・泊地整備事業は、平成27年度に引き続き、航路(水深13m)等の浚渫工事を推進します。
- ・岩国港臨港道路整備事業は、新港地区から室の木地区間の橋梁下部工事等を推進します。

《平成 28 年度の予算概要》

1. 配分方針

(1) 平成28年度国土交通省関係予算については、気象災害や巨大地震等に備えるための防災・減災対策、インフラの老朽化対策、個性豊かな活力ある地域の形成や強い経済の実現など我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「国民の安全・安心の確保」、「豊かで利便性の高い地域社会の実現」及び「日本経済の再生」の3分野に重点化し計上したところです。

(2) また、今後の社会資本整備にあたっては、生産性向上を導く社会資本のストック効果を重視することにより、アベノミクスによる「民間投資を喚起する成長戦略」の実効性を高め、経済成長を支えていくことが重要です。

このため、本年3月に「国土交通省生産性革命本部」を設置したところであり、ここでの議論も踏まえ、真に必要な事業への重点化(「賢く投資」)、既存施設の最大限の活用(「賢く使う」)や地域のニーズを踏まえた社会資本の集約・再編に留意しつつ、その整備を推進する必要があります。

(3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分にあたっては、

- ・気候変動に備えるための水害・土砂災害対策や火山災害対策
- ・インフラ老朽化対策等のための戦略的な維持管理・更新
- ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援(防災・安全交付金)
- ・人口減少等を見据えた「コンパクト＋ネットワーク」の形成
- ・若年世帯・子育て世帯・高齢者世帯が安心して暮らせる住まいの確保
- ・効率的な物流ネットワークの強化
- ・首都圏空港、国際コンテナ戦略港湾の機能強化
- ・競争力強化等のための社会資本の総合的整備(社会資本整備総合交付金)

などについて、地域の実情や要望、社会資本のストック効果等を勘案し、配分を行います。

また、山口河川国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は、以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくり「元気創出やまぐち！みらい開拓チャレンジプラン」を積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要

1)山口河川国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	353	391	0.90
総合水系環境整備事業	44	21	2.10
小計	397	412	0.96
道路関係			
改築	11,430	7,430	1.54
交通安全(I種事業)	1,047	879	1.19
電線共同溝	1,015	1,555	0.65
小計	13,492	9,864	1.37
事務所計	13,889	10,276	1.35

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない

維持管理に関する予算は含まれていない。

2)宇部港湾・空港整備事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成28年度	平成27年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	3,800	3,920	0.97
【重要港湾】			
岩国港	620	930	0.67
宇部港	2,131	2,120	1.01
【地方港湾】			
油谷港	51	75	0.68
事務所計	6,602	7,045	0.94

注. 下関市域分は含まれていない。

事業費はいずれも年度当初予算である。

3. 主要な施策、事業

1) 主要な施策、事業の概要

河川事業

事業名	平成 28 年度の概要	備考
佐波川一般河川改修事業 (奈美地区)	睦美橋から小野大橋付近の防府市奈美・鈴屋 において築堤工事を推進します。	資料- 1
佐波川総合水系環境整備事業 (新橋地区)	防府市本橋町・上右田の本橋付近において法 面整正、坂路整備を実施します。	資料- 2

道路事業

事業名	平成 28 年度の概要	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	調査設計及び改良工事を推進します。	資料- 3
一般国道2号 周南立体	調査設計を推進します。	資料- 4
一般国道2号 富海拡幅	用地買収及び改良工事を推進します。	資料- 5
一般国道2号 小月バイパス	平成28年度の4車開通に向け、橋梁工事、舗 装工事等を推進します。	資料- 6
山陰道 長門・俵山道路	平成31年度の完成に向け、改良工事、橋梁工 事、トンネル工事を推進します。	資料- 7
山陰道 俵山・豊田道路	道路設計・環境調査等を推進します。	資料- 8
一般国道2号 栄橋	平成28年度完成に向けて、橋梁工事等を推 進します。	資料- 9
山口2号交差点改良等 (松耀台交差点改良)	平成28年度の完成に向けて、工事を推進しま す。	資料-10
山口2号交差点改良等 (印内交差点改良)	調査設計及び改良工事を推進します。	資料-11
山口191号交差点改良等 (平安古交差点改良)	調査設計及び用地買収を推進します。	資料-12
山口2号電線共同溝 (柳井電線共同溝)	平成29年度の柱撤去に向け調査・設計及び 工事を推進します	資料-13
国道2号 田原地区防災対策	法枠工、落石防護柵の設置を行います。	資料-14
橋梁の老朽化対策	老朽化に伴い橋梁の補修を実施します。	資料-15

港湾事業

事業名	平成 28 年度の概要	備考
国際拠点港湾 徳山下松港(新南陽地区) 国際物流ターミナル整備事業	平成28年度の完成に向けて、航路(水深12m)の浚渫工事を推進します。	資料-16
国際拠点港湾 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	平成28年度より新規事業として、下松地区、徳山地区の調査・設計に着手します。	資料-17
重要港湾 岩国港臨港道路整備事業	新港地区から室の木地区間の橋梁下部工事等を推進します。	資料-18
重要港湾 宇部港航路・泊地整備事業	所定水深の確保に向けた航路の浚渫工事を推進します。	資料-19
港湾施設の老朽化対策事業	岩国港室の木地区岸壁(水深10m)の舗装工事及び宇部港芝中地区岸壁(水深13m)の付属工事等を推進します。	資料-20

主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾事業



さばがわ
佐波川一般河川改修事業
(なみ
奈美地区)

事業費353百万円

資料-1

※佐波川水系全体

事業推進

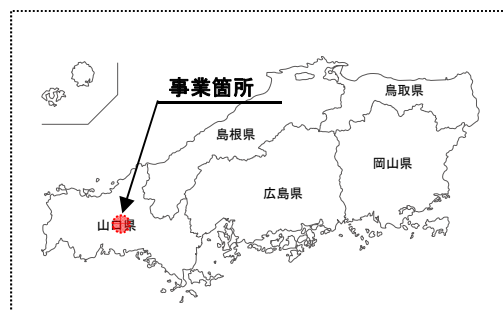
1. 事業の必要性及び概要

ほうふし なみ
防府市奈美地区は、堤防のない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、緊急的に堤防整備を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

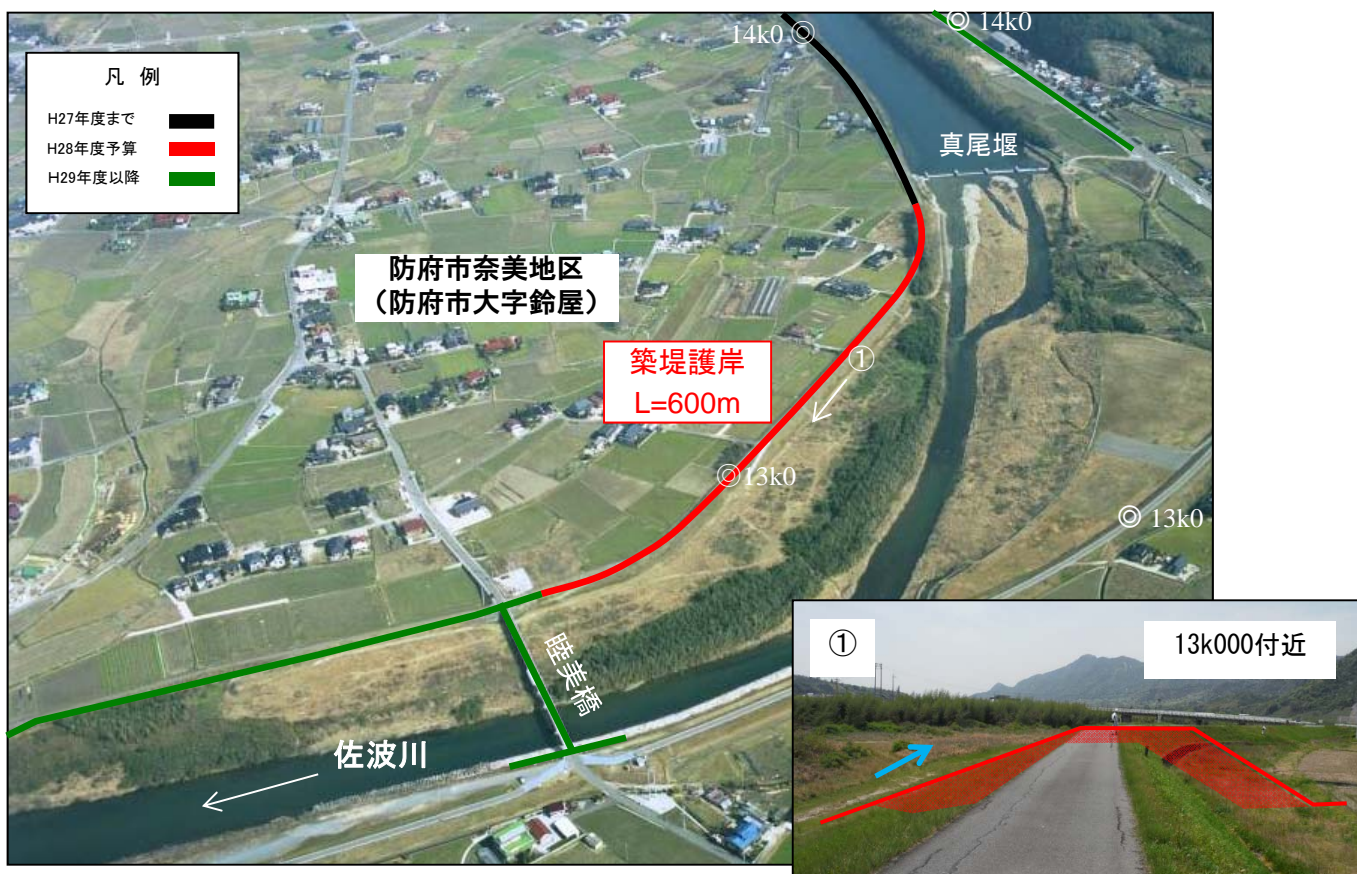
2. 事業箇所

ほうふし すずや
山口県防府市大字鈴屋地先



3. 平成28年度 予定事業内容

なみ
佐波川奈美地区において、築堤護岸 L=600mを実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

さばがわ
佐波川総合水系環境整備事業
しんばし
(新橋地区)

事業費44百万円
※佐波川水系全体

資料-2

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

防府市では、第四次防府市総合計画「防府まちづくりプラン2020」において、歴史や文化の色濃いまちとの回遊散策空間を形成させることで、地域の活性化を推進することとしています。

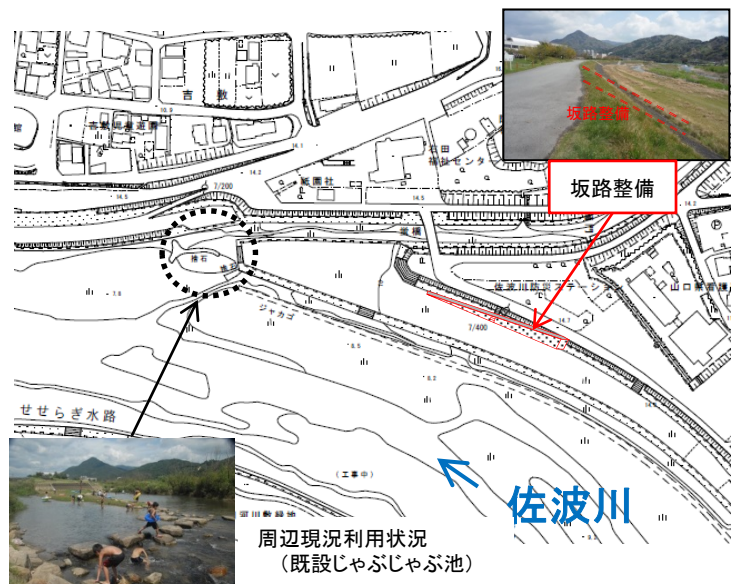
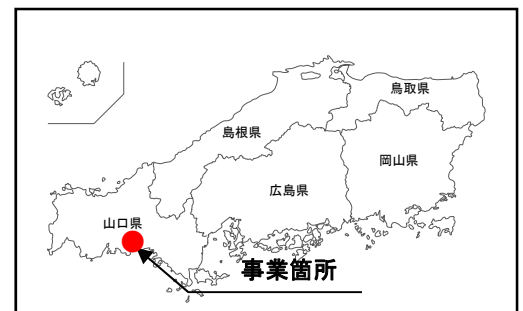
河川管理者である、国土交通省では、防府市及び地域と連携し、水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保されるよう法面整正や河川管理用通路等の整備を実施します。

2. 事業箇所

山口県防府市新橋地区

3. 平成28年度 予定事業内容

新橋地区において、法面整正、坂路整備を実施します。



4. 期待される整備効果

防府市の賑わいの創出や川に親しむ機会の創出が期待されます。

佐波川とその周辺地域の自然環境、豊富な歴史や文化資産等を繋ぐ場として、市民や他より訪れる方に活用されることが期待されます。

一般国道2号 岩国・大竹道路

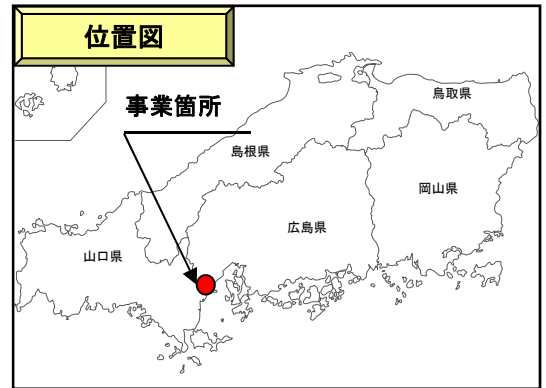
事業費1,769百万円
(広島県1,439百万円 山口県330百万円)

資料-3

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的とした、広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町に至る延長9.8kmの道路です。

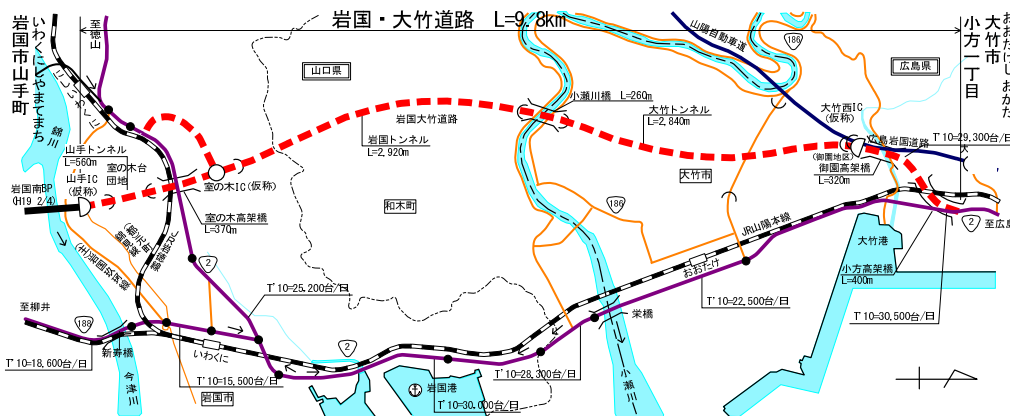


2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町

3. 平成28年度 予定事業内容

調査設計及び改良工事を推進します。



信号交差点が連続する大竹市街の道路状況

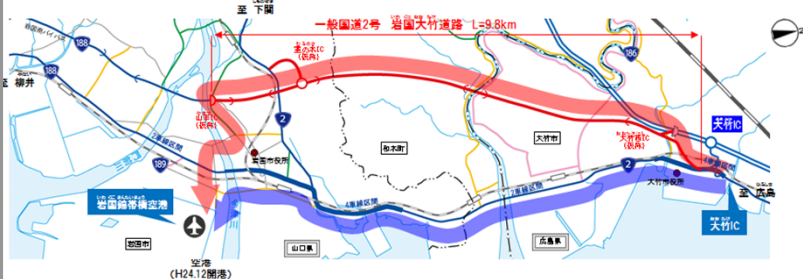


岩国新港地区(渋滞状況)

期待される整備効果

●所要時間の短縮

広島方面から岩国錦帯橋空港への定時性および利便性の向上が期待されます。



※現況所要時間は民間プローブデータ(H25.4~H25.8平日) 整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)、60km/h(室の木IC~山手IC)、H22道路交通センサス旅行速度で設定。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

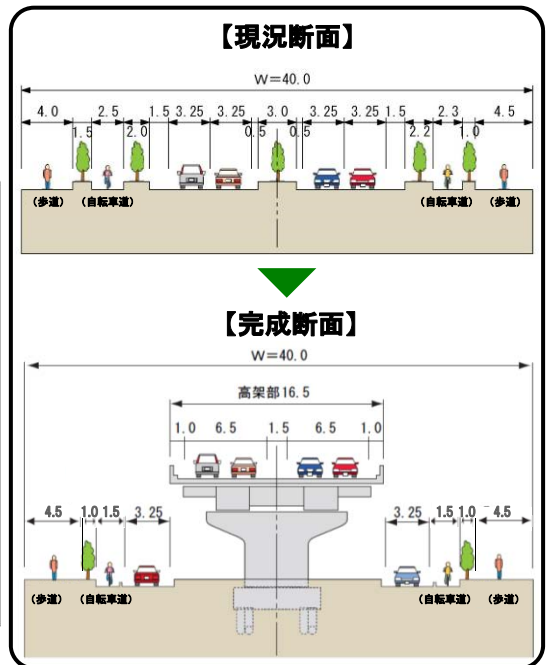
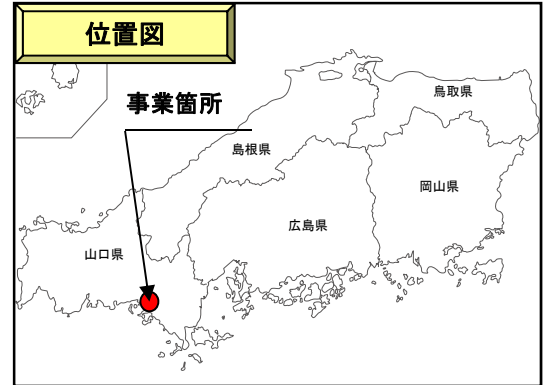
一般国道2号周南立体は、周南市内の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的として、主要渋滞箇所である三田川交差点を跨ぐ交差点の立体化及び隣接する交差点の改良を行うものである。

2. 事業箇所

しゅうなんし こうだちよう しゅうなんし とくやま
周南市孝田町から周南市徳山

3. 平成28年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



期待される整備効果

効果)「交通渋滞の緩和」

国道2号における交通渋滞の緩和が図られることが期待されます。



【写真①】 三田川交差点を先頭とする渋滞状況

効果)「交通安全の確保」

国道2号における交通渋滞が緩和され、追突事故や交差点及び沿道施設での左折事故の削減が図られます。



【写真②】 朝ピーク時の三田川交差点上流部の状況

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

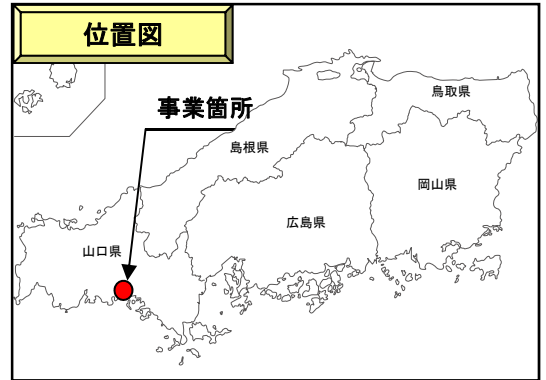
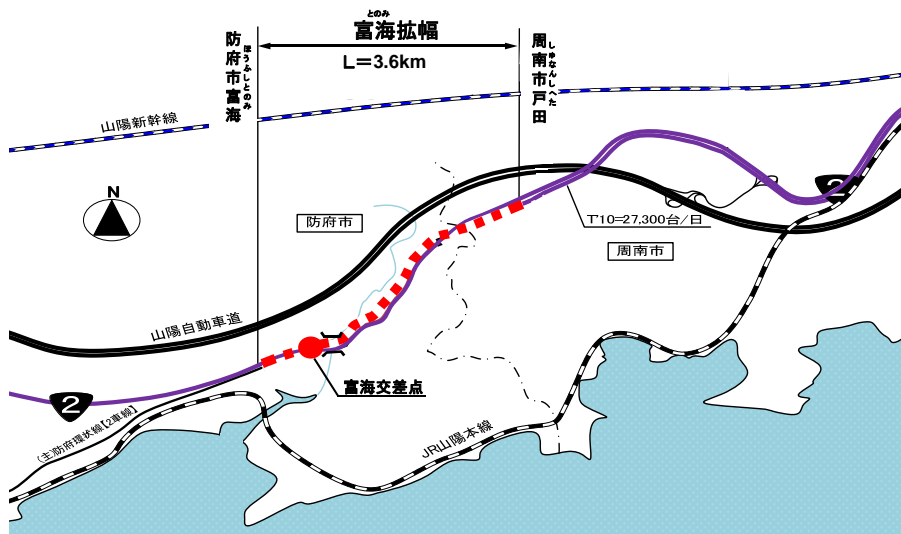
とのみ しゅうなんし へた ほうふし とのみ
一般国道2号富海拡幅は、周南市戸田から防府市富海の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長3.6 kmの拡幅事業です。

2. 事業箇所

やまぐちけん しゅうなんし へた やまぐちけん ほうふし とのみ
山口県周南市戸田から山口県防府市富海

3. 平成28年度 予定事業内容

用地買収及び工事を推進します。



現況状況



写真①防府市富海地区(渋滞状況)

現況状況



写真②防府市富海地区(事故発生状況)

期待される整備効果

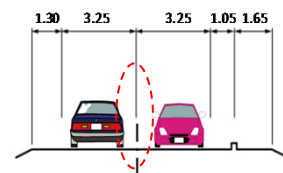
●交通渋滞の緩和

4車拡幅整備により、交通容量が確保され、交通渋滞の緩和が期待されます。

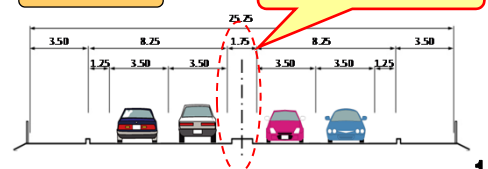
●交通安全の確保

線形不良箇所の解消、及び中央分離帯の設置により車線逸脱等を防止することで正面衝突等の重大事故の削減が期待されます。

現況横断面



整備後横断面



完成予定

1. 事業の必要性及び概要

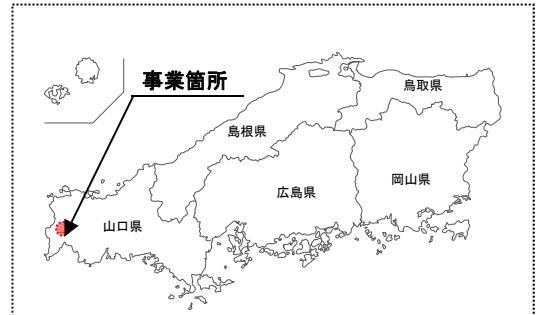
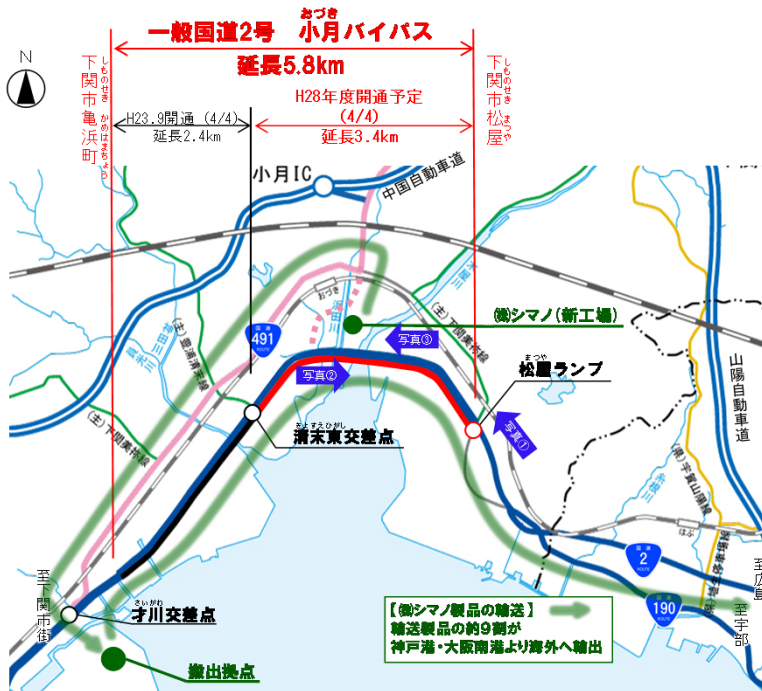
おづき しものせき
小月バイパスは、下関市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長5.8kmの道路です。

2. 事業箇所

しものせき まつや しものせき かめはまちよう
山口県下関市松屋～下関市亀浜町

3. 平成28年度 予定事業内容

平成28年度の4車線開通に向け、橋梁工事、舗装工事等を推進します。



【写真①】松屋ランプ施工状況 (橋を造っています)



【写真②】木屋川大橋第2高架橋施工状況 (橋を架けています)



【写真③】木屋川付近の交通状況

4. 期待される整備効果

■ 交通混雑の緩和

- ・清末東交差点以东の2車線区間は交通量が多く、渋滞が発生しています。
- ・並行する国道491号においても渋滞が発生しており、小月バイパスの4車線化により混雑緩和が期待されています。

■ 地域産業の活性化・効率化支援

- ・定時性向上により物流ネットワークの安定が確保され、地域産業活動の活性化・効率化を支援します。

沿線事業所で大規模な設備投資

自転車部品のトップメーカーである(株)シマノは、世界的な需要増加に対応するため、周辺の道路整備が進む下関工場の増設を決定

- ・H28年12月稼働予定
- ・新規雇用250人予定
- ・投資額120億円

下関工場の製品は物流拠点を經由し、約9割が国道2号を利用して関西の港湾より海外へ輸出

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

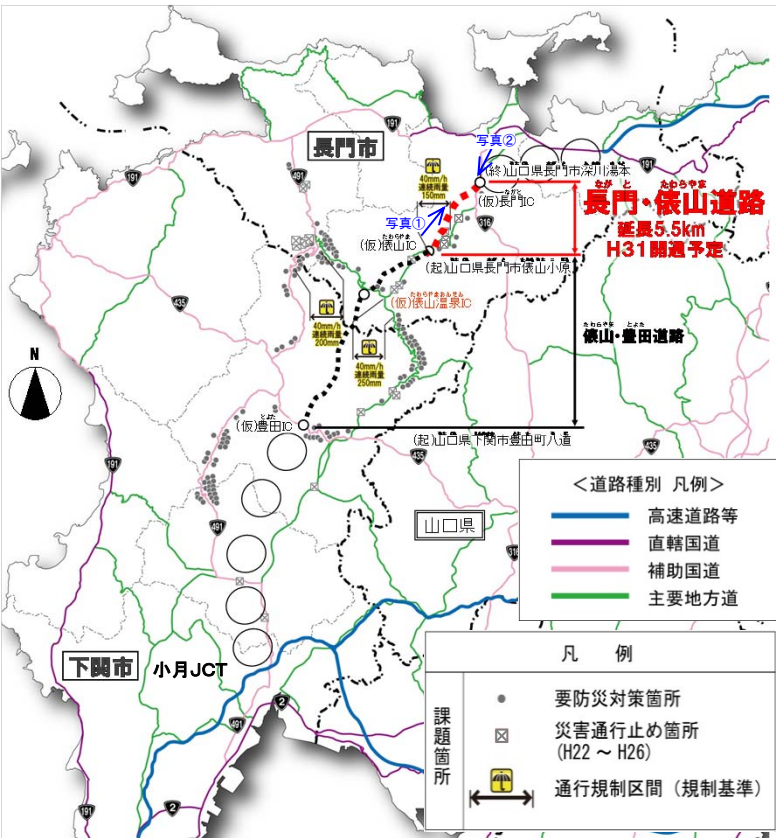
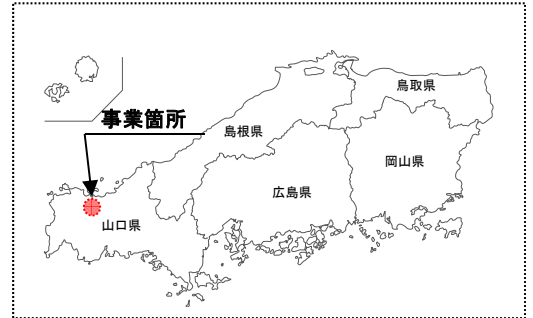
山陰道 長門・俵山道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間の解消、俵山地区の災害時の孤立回避を目的とした、延長5.5kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本

3. 平成28年度 予定事業内容

平成31年度の開通に向け、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。



写真① 事業進捗状況
(長門市深川湯本(赤ノ谷)から長門市街方面を望む)



写真② 事業進捗状況
(長門市街方面から下関方面を望む)

4. 期待される整備効果

■災害時等の代替路線の確保

平成21年7月の中国・九州北部豪雨では下関長門線大寧寺峠で大規模な道路崩落が発生し交通が途絶しました。長門・俵山道路の整備により、災害時における代替路が確保され、信頼性の高いネットワークが形成されます。

H21年7月中国・九州北部豪雨による大寧寺峠の被災状況

道路の崩落が発生

全面通行止:平成21年7月21日9:00
～平成21年9月28日13:00

約2ヶ月間

片側通行規制:平成21年9月28日13:00
～平成21年11月30日17:00

約2ヶ月間



1. 事業の必要性及び概要

新規事業化

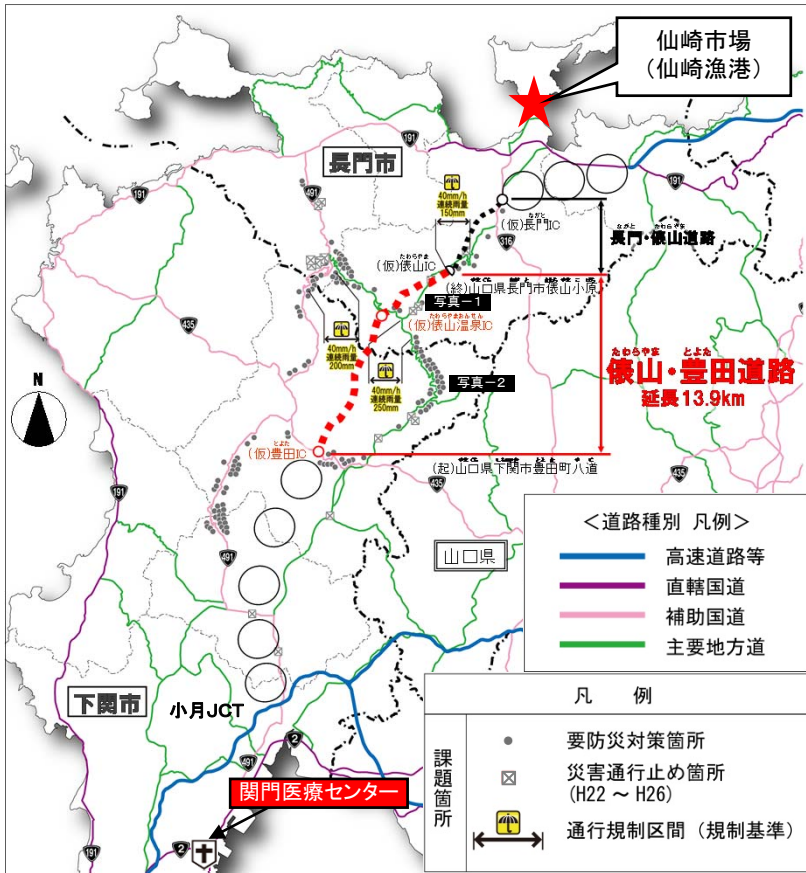
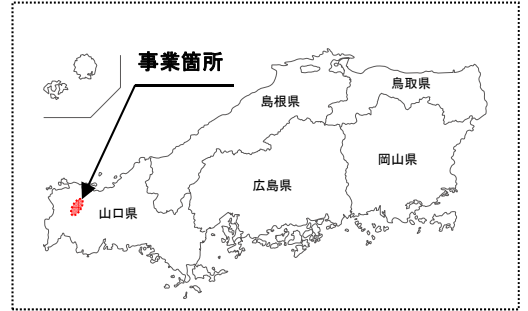
山陰道 俵山・豊田道路(延長13.9km)は広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善、下関～長門間の代替路の確保を目的とした自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～長門市俵山小原

3. 平成28年度 予定事業内容

道路設計、環境調査等を推進します。



▲H25.9被災状況(長門市俵山)



▲狭隘トンネル

4. 期待される整備効果

■搬送ルートが強化され水産業を支援

下関市への搬送ルートが強化され、長門市の主要産業である水産業及び水産加工業の企業活動を支援

■救急医療施設へのアクセス強化

第3次救急医療機関(関門医療センター)の搬送60分圏域が長門市の中心部まで拡大

■広域連携強化

高速ネットワークの整備により、九州から山口県北部への観光交流人口が拡大

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

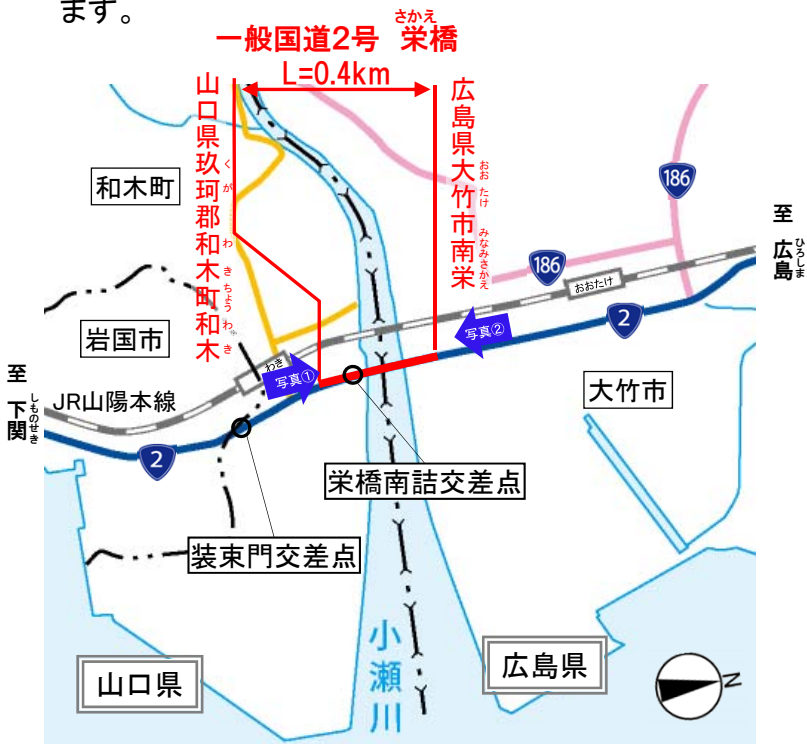
栄橋は、広島県及び山口県の県境に位置する老朽化した橋梁の架け替えを目的とした延長0.4kmの橋梁架け替え事業です。

2. 事業箇所

広島県大竹市南栄二丁目～山口県玖珂郡和木町和木五丁目

3. 平成28年度 予定事業内容

平成28年度の完成に向け、橋梁工事、舗装工事等を推進します。



【写真①】施工状況(山口県側から広島県側を望む)



【写真②】栄橋 完成イメージ

4. 期待される整備効果

- 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性の確保
- 歩道幅員増による安全で快適な歩行空間の確保



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】コンクリート落下

山口2号交差点改良等 (しょうようだい松耀台交差点改良)

道-10

事業費99百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、交差点に右折車線が無い^{おき}ため、車両相互の接触事故が発生しています。また、王喜^{おうき}小学校の通学路であり、片側歩道のために安全・安心な通行が確保されていません。

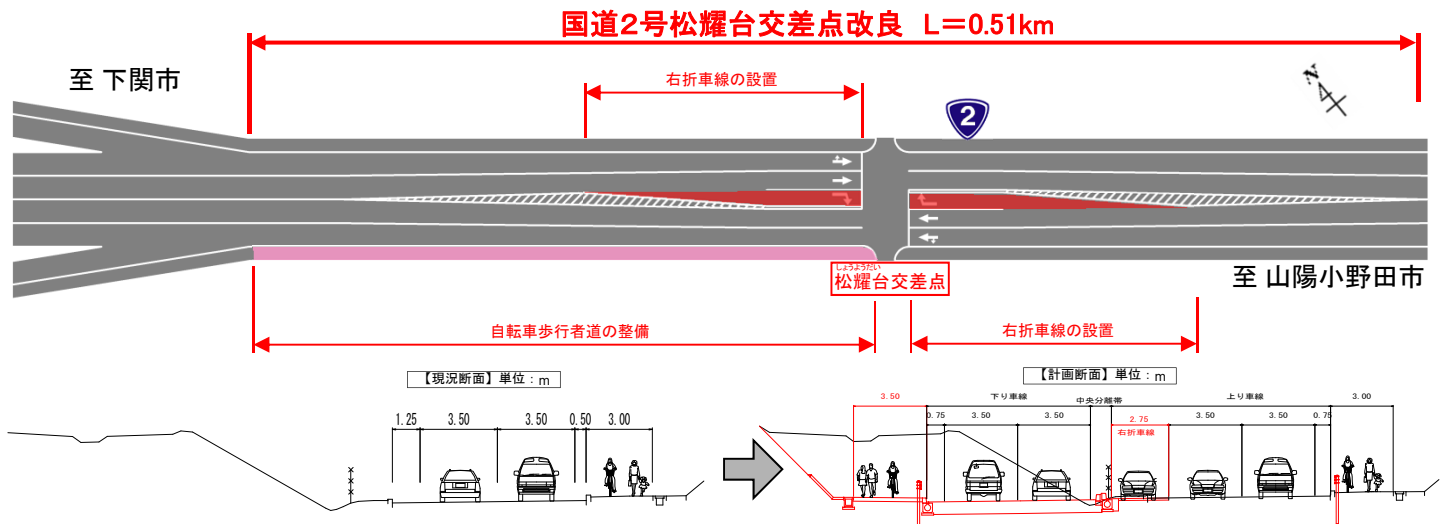
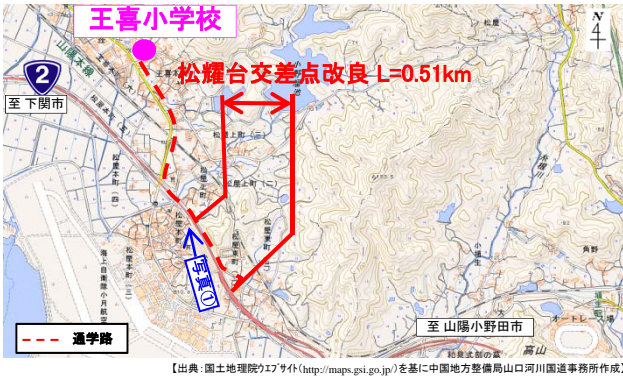
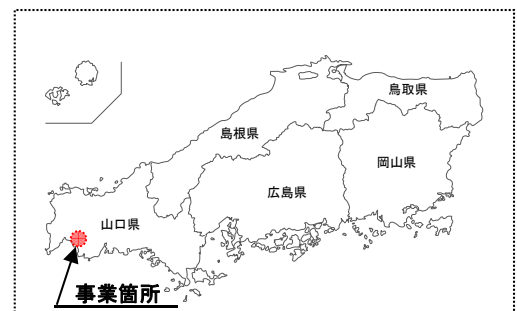
このため、交差点改良により事故の削減を図るとともに、自転車歩行者道整備により歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間を確保します。

2. 事業箇所

しものせき まつやほんまち
山口県下関市松屋本町

3. 平成28年度 予定事業内容

平成28年度の完成に向け、工事を推進します。



山口2号交差点改良等 (印内地区交差点改良)

資料-11

事業費135百万円

新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所のうち、印内交差点では左折車線の交通容量不足、滑石交差点では右折車線の滞留長不足により滞留した車両への追突事故が多発しています。また、豊浦小学校の通学路として利用されていますが、歩道が狭く児童等の安全性が確保されていません。

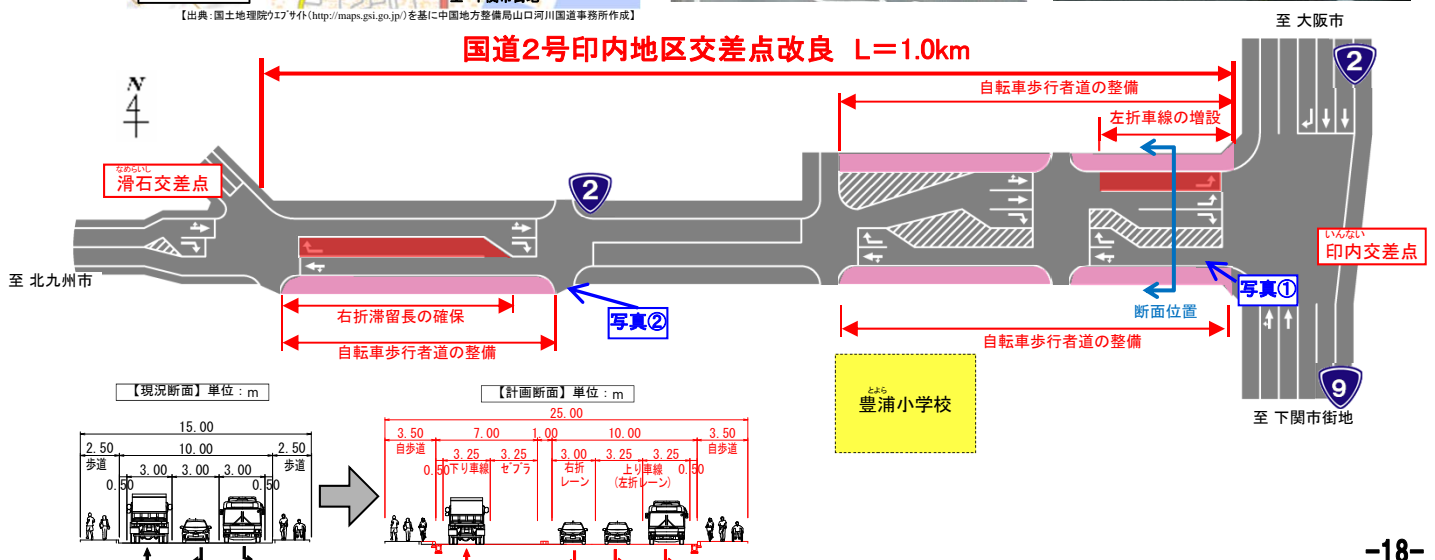
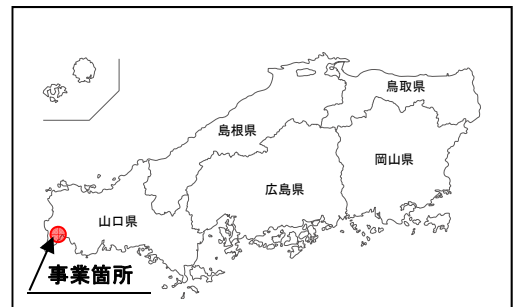
このため、印内交差点では左折車線の増設、滑石交差点では右折滞留長の確保による交差点改良と歩道拡幅による自転車歩行者道の整備を行うものです。

2. 事業箇所

山口県下関市長府印内町

3. 平成28年度 予定事業内容

調査設計、工事を推進します。



山口191号交差点改良等 (平安古地区交差点改良)

資料-12

事業費72百万円

1. 事業の必要性及び概要

新規事業化

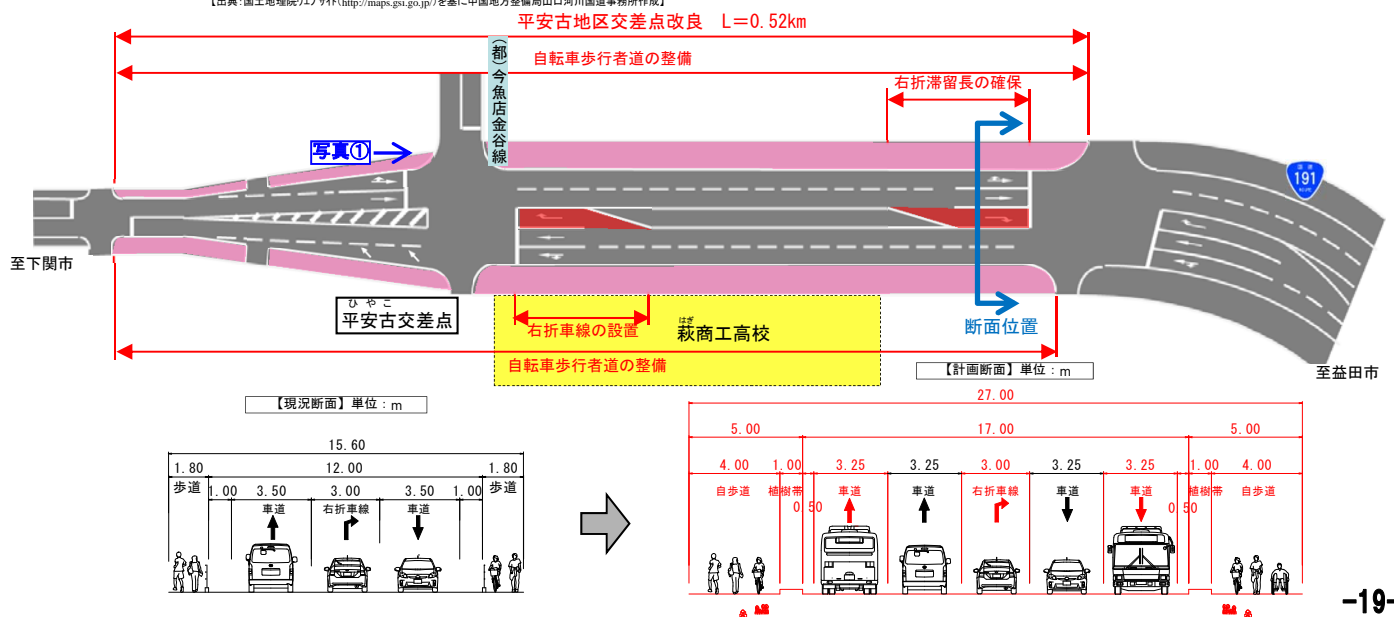
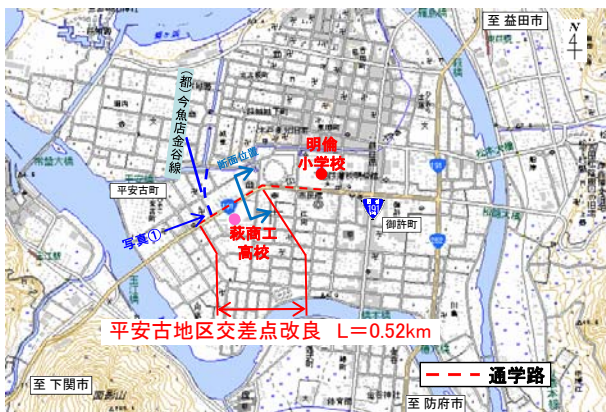
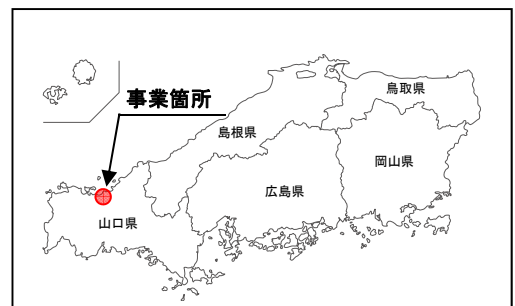
当該箇所は、萩市の中心市街地の幹線道路であり、交差点での右折車線が未設置または滞留長不足により滞留した車両への追突事故が多発しています。また、明倫小学校や萩商工高校の通学路に利用されていますが、歩道が狭く利用者の安全が確保されていません。このため、右折車線の設置などにより交差点を改良し、歩道拡幅による自転車歩行者道の整備を行い、あわせて良好な都市景観の形成に向けて電線共同溝の整備を行います。

2. 事業箇所

山口県萩市平安古町

3. 平成28年度 予定事業内容

調査設計、用地買収を推進します。



山口188号電線共同溝 やない (柳井電線共同溝)

資料-13

事業費250百万円

本体完成

1. 事業の必要性及び概要

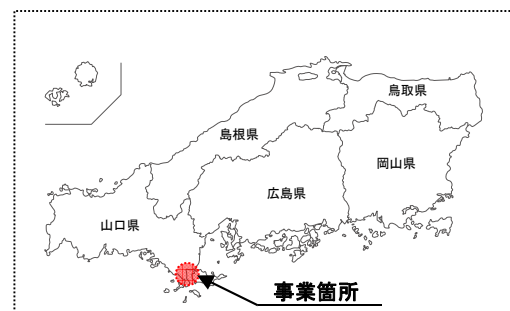
柳井電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

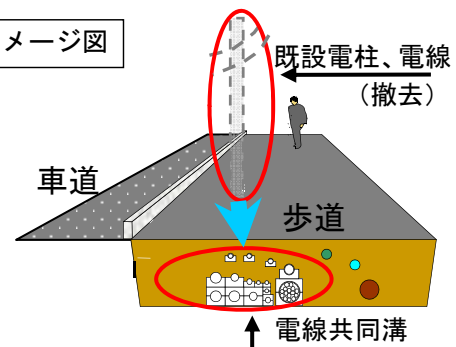
山口県柳井市南町3丁目～柳井市南町6丁目

3. 平成28年度予定事業内容

平成29年度の電柱撤去に向け、調査設計、本体工事を推進します。



イメージ図



施工前



施工後(イメージ)

4. 期待される整備効果

・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の形成が期待されます。

防災・震災対策

1. 事業の必要性及び概要

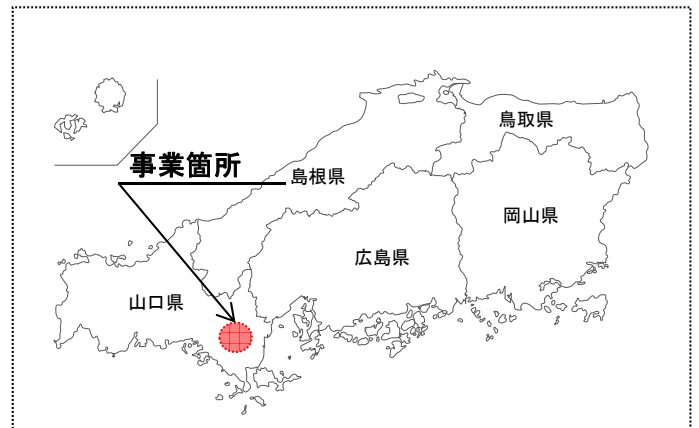
たわら
田原地区の防災対策を実施することで、豪雨等における被害の軽減や、円滑かつ迅速な応急活動を支援するため、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

やまぐち いわくに たわら
山口県岩国市田原

3. 平成28年度 予定事業内容

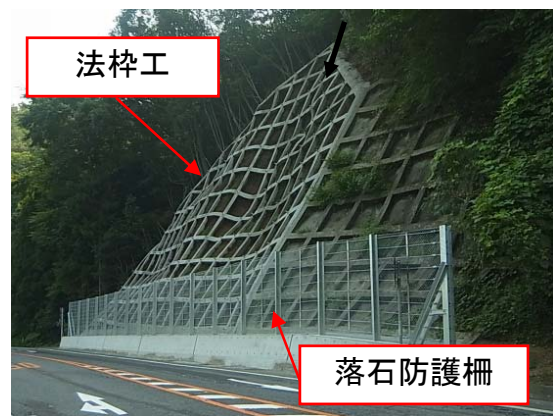
いわくに
豪雨等により土砂崩落のおそれのある岩国市
たわら
田原地区において、法枠工、落石防護柵の設置を行います。



全景



完成イメージ



崩落斜面状況



既存防護柵背面の土砂堆積状況



直径20~40cm程度の転石が多数存在

●国民の安全・安心の確保
○防災・減災、老朽化対策

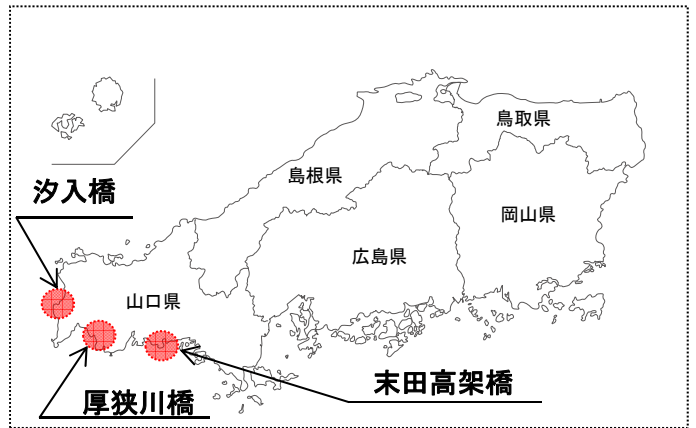
老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

定期点検の結果、修繕が必要と判断された末田高架橋・厚狭川橋・汐入橋などの修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

- 一般国道 2号 末田高架橋
- 一般国道190号 厚狭川橋
- 一般国道191号 汐入橋



3. 平成28年度 予定事業内容

【代表事例】

末田高架橋

山口県防府市江泊
橋桁の補修等

全景



損傷状況



厚狭川橋

山口県山陽小野田市西高泊
橋桁の補修等

全景



損傷状況



汐入橋

山口県下関市吉見下
橋桁の補修等

全景



損傷状況



徳山下松港国際物流ターミナル整備事業 (新南陽地区)

事業費
3,000百万円

資料-16

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

近年、背後企業の生産設備、発電設備等の増強に伴い、発電用燃料の石炭輸入が増加しているものの、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深が不足していることから、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

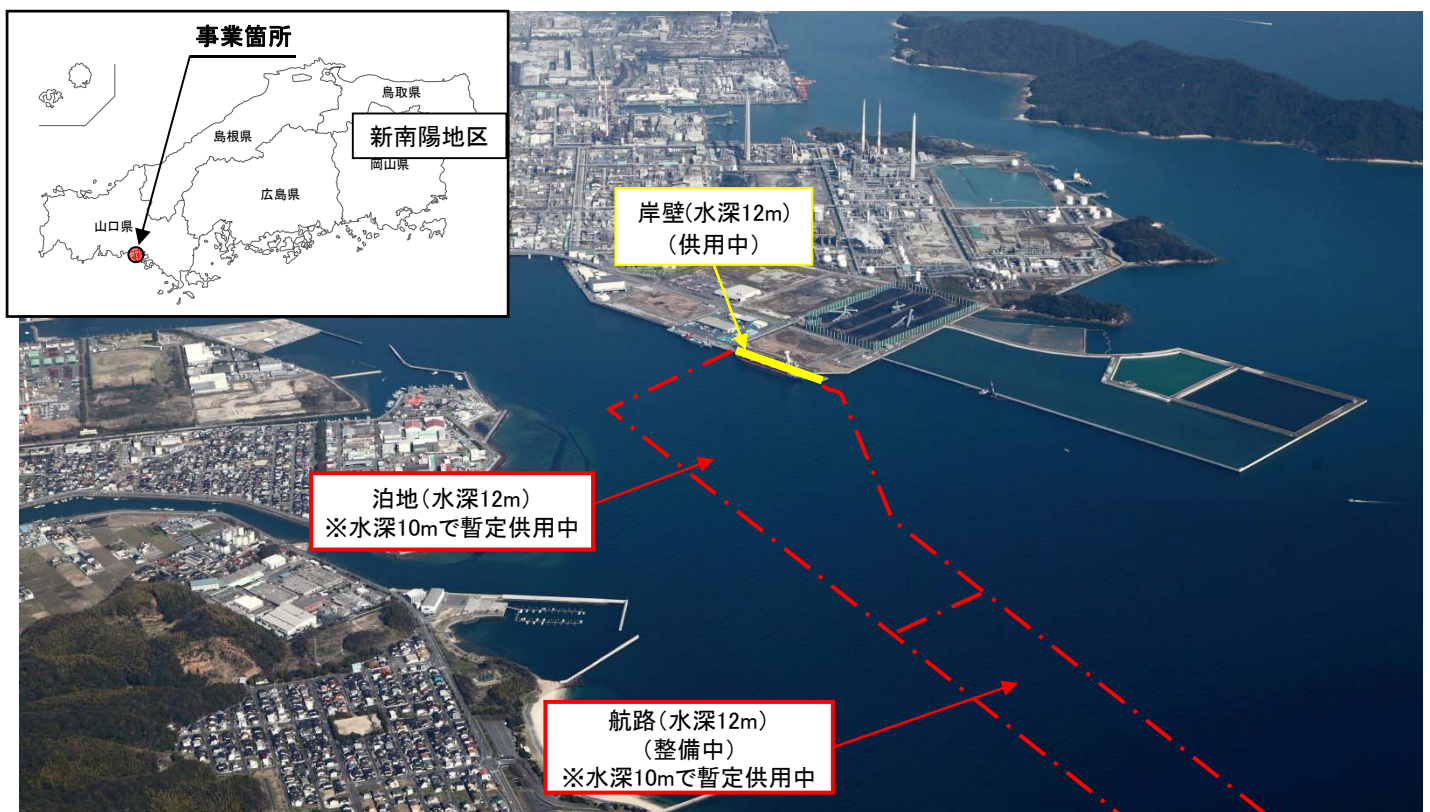
このため、新南陽地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市

3. 平成28年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、航路(水深12m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

石炭を海外から直接輸入する大手企業は、各々単独で石炭運搬船を傭船契約し、独自に石炭を調達しているところであるが、各社が利用するそれぞれの既存ターミナルは、大型石炭運搬船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送が行われている状況にあり、大型石炭運搬船による効率的な輸送体制の確立が課題となっています。

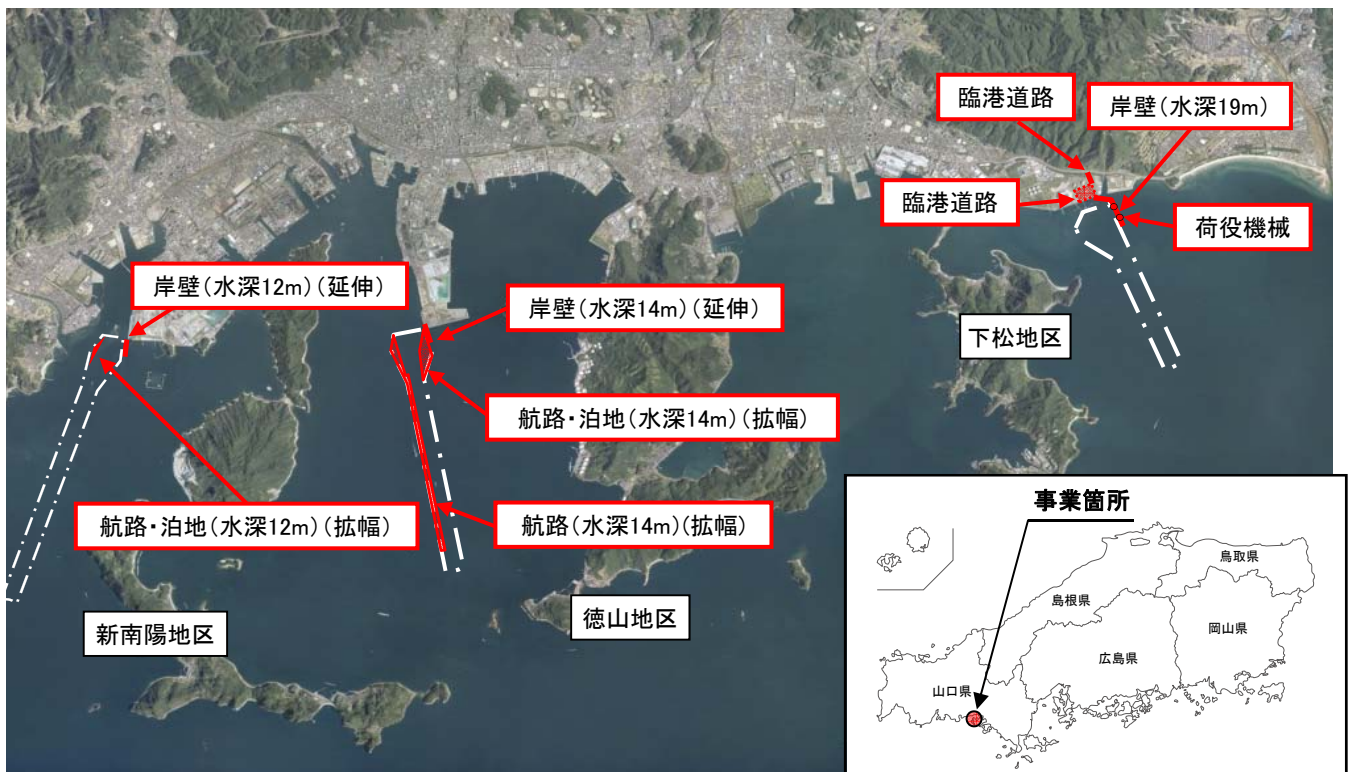
このため、^{くだまつ}下松地区、^{とくやま}徳山地区および^{しんなんよう}新南陽地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県周南市、下松市

3. 平成28年度 予定事業内容

栈橋(水深19m)、岸壁(水深14m)、航路・泊地(水深14m)の整備に必要な調査・設計等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県岩国市

3. 平成28年度 予定事業内容

臨港道路の下部工事、舗装工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県宇部市

3. 平成28年度 予定事業内容

航路(水深13m)等の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

高度成長期に集中的に整備された港湾施設については、今後一斉に老朽化を迎えることが予測され、これにより、社会資本のライフサイクルコストの増大、老朽化を起因とした事故等による国民への公共サービスの低下などが大きな課題とされています。

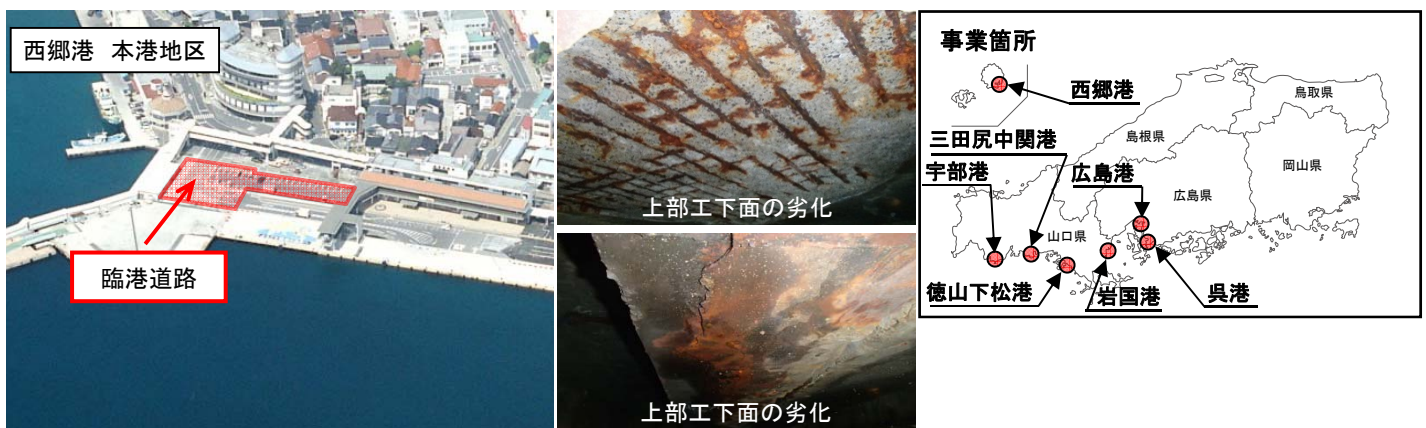
このため、老朽化により港湾機能に支障が生じないように、効率的・戦略的な港湾施設の老朽化対策を実施します。

2. 事業箇所

西郷港(島根県隠岐郡隠岐の島町)、広島港(広島県広島市、安芸郡坂町)、呉港(広島県呉市)、徳山下松港(山口県光市)、岩国港(山口県岩国市)、三田尻中関港(山口県防府市)、宇部港(山口県宇部市)

3. 平成28年度 予定事業内容

- | | |
|---------------|--|
| 西郷港(島根県事業) | : 老朽化した臨港道路の対策に必要な調査・設計等を実施します。 |
| 広島港(直轄事業) | : 老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な調査・設計、撤去工事等を実施します。 |
| 呉港(直轄事業) | : 老朽化した岸壁(水深10m)の対策に必要な舗装工事等、老朽化した岸壁(水深4.5m)の対策に必要な調査・設計等を実施します。 |
| 徳山下松港(山口県事業) | : 老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な本体工事を実施します。 |
| 岩国港(直轄事業) | : 老朽化した岸壁(水深10m)の対策に必要な舗装工事を実施します。 |
| 岩国港(山口県事業) | : 老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な地盤改良工事を実施します。 |
| 三田尻中関港(山口県事業) | : 老朽化した岸壁(水深7.5m)の対策に必要な本体工事、地盤改良工事、調査・設計等、老朽化した橋梁の対策に必要な下部工事を推進します。 |
| 宇部港(直轄事業) | : 老朽化した岸壁(水深13m)の付属工事等を実施します。 |



港湾施設の老朽化状況の一例: 西郷港本港地区臨港道路

4. 期待される整備効果

本事業より、既設港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減が図られます。